総合	第４学年	東広島市立西条小学校	指導者　菅　ちあき

単元名

西条の水と龍王山①
－西条の水のナゾを追え！－

本単元で育成する資質・能力　課題発見力・追求力・評価力

１　単元のデザイン

本単元の目標

○酒蔵通りで酒の仕込み水として汲み上げられている水について調査する活動を通して，西条の水の特質や価値に気付き，地域を愛する心情を育てる。

児童について

○本学年の児童は，第３学年で社会科及び総合的な学習の時間において，西条は酒造りが盛んであること，酒蔵通りという酒蔵が多く集まる場所があることを学んでいる。しかし，事前に行ったアンケート調査によると，酒造りの最も重要な要素である仕込み水についての知識はあまりなく，飲んだことのない児童が多いことが分かった。

　そこで，酒造りに使われる西条の水について調査することを通して，地域に対する愛着を深め，地域に関わろうとする態度を育てることができるよう本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】
- 西条の水を試飲し，疑問や驚き等をもつ。
- 西条の水の試飲体験を通してもった疑問や驚き等を基に調べたいことや解決したいことを発見する。

【追求力】
- 西条の水の良さを探るために，様々な方法で調査を行い，情報を集める。
- 西条の水について調査したことを比較したり関連付けたりして実験結果の要因や西条の水の価値等を話し合う。
- 西条の水の特徴を探り，それを知らせるために，友達や専門家，地域の人々と協力する。

【評価力】
- 西条の水に対する自分の見方の変容に気付き，自分の成長や今後の目標を自覚する。
- 西条の水についての理解を深め，西条の水の価値を実感する。

教材について

○龍王山の麓に位置する酒蔵通りには，七つの酒蔵が隣接しており，全国でも珍しい酒処である。その主な要因の一つとして，酒造りに使用される仕込み水がある。龍王山に降った雨がゆっくりとしみ込み，約５０年かけて酒蔵通り周辺のみに伏流水として流れてくる。その伏流水は鉄分の割合が少なく，酒造りに適した水である。各酒蔵は井戸を掘り，その水を汲み上げて酒の仕込み水として使用している。その水があるからこそ，西条が日本有数の酒処として存在できているといっても過言ではない。また，その仕込み水は酒蔵が一般に提供しており，「西条のおいしい水」として，各家庭や店舗等で使われることも多い。

○西条の水を扱うことにより，これまで当たり前だと思っていた事象を捉え直し，そこから西条の様子や特徴を知ることができる。また，西条の水についてこだわりをもって探究活動をしたり，西条の水を利用している人々の話を聞いたりすることは，地域への愛着をもつことにつながると考える。

指導の手立て

○本単元は，二つの小単元に分けられている。小単元①では，西条の水について調べる学習を進める。「課題の設定」では，酒蔵の仕込み水の試飲体験を行い，児童の疑問や驚きを引き出す。児童が最も関心を寄せるのは，西条の水の味についてだと予想される。そこで，「情報の収集」前半においては，西条の水の味についての体験活動を中心にし，追求力を引き出す。また，児童が粘り強く主体的に追求するよう，お気に入りの井戸水を見付けたり，水の利用者にインタビューしたりすることにより，それぞれにこだわりをもたせる。「情報の収集」後半では，栄養教諭や専門家から話を聞くことにより，児童の追求の視点を広げ，児童が問いをもったり，理解を深めたりできるようにする。「整理・分析」では，集めた情報を関連付けてキャッチコピーを話し合わせることにより，西条の水の価値についての理解を深めるようにする。

○小単元②では，西条の水のナゾを多くの人に知らせるために，国語科「新聞を書こう」と関連させ，グループ新聞を作成する。目的に応じた記事となるよう，全校児童・保護者アンケートを分析させ，書く内容を決定させる。また，場所の特徴を比較し，より実現可能で効果の高い場所に新聞を展示できるよう，座標軸を用いて話し合わせる。そして，公共の場所や店などへの展示の依頼を児童に行わせ，最後まで自分達の力で追求する力を養う。「振り返り」では，ビフォー・アフターシートを活用し，西条の水に対する見方の変容や自己の成長を自覚させたい。

2　単元の評価規準

資質・能力		評価規準
課題発見力	対象に心を寄せる	①西条の水に関心をもち，西条の水を試飲し，疑問や驚き等をもっている。
	課題を発見する	②西条の水の試飲体験を通してもった疑問や驚き等を基に，KJ 法的な手法を使って，課題を設定している。
		③多くの人に西条の水のナゾを伝えたいという思いをもち，西条の水のナゾを伝える計画を立てている。
追求力	課題解決に向けて情報を収集する	①西条の水の良さを探るために，様々な方法で調査し，結果をまとめたり，考察したりしている。
	思いや願いの実現に向けて，思考スキルを用いて課題を解決する	②西条の水について実験・調査したことを比較したり関連付けたりして，西条の水の価値を話し合い，それをキャッチコピーに表している。 ③全校児童・保護者アンケートの結果と関連付けて，新聞の構成を考えている。
	課題解決のために人とかかわる	④専門家の話を聞き，西条の水の価値についての考えを広げたり深めたりしている。 ⑤西条の水のナゾを知らせるために，友達と主体的にかかわり，協力している。
評価力	自分の学びを振り返る	①西条の水に対する自分の見方の変容に気付き，自分の成長や今後の目標を自覚している。
	対象（地域）の良さを自覚する	②西条の水についての理解を深め，西条の水の価値を実感している。

3　単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 33 時間）

〇西条の水のナゾを探ろう（24）

課題の設定

・オリエンテーションを行い，西条の水について知っていることをイメージマップにかく。（１）【課①】
・酒蔵通りで各酒蔵の仕込み水の試飲体験をする。（２）【課①】
・試飲体験で感じたことや疑問に思ったことを整理し，追求したい課題を設定し，学習計画を立てる。（２）【課②】

情報の収集

・各酒造会社の井戸について調べ，各井戸の水を飲み比べる。（３）【追①】
・酒造会社の人や西条の水を利用している人にインタビューし，その結果を考察する。（５）【追①】
・西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターを飲み比べる。（１）【追①】

独創スピリッツを引き出す工夫

【課題の設定】

・体験活動を仕組むことで西条の水への興味・関心を喚起し，学習対象への疑問や驚きをもたせて学習をスタートする。（課題発見力）
・試飲体験を通してもった疑問や驚きを KJ 法的な手法で類型化し，課題を設定する。（課題発見力）

【情報の収集】

・試飲してお気に入りの井戸水を見付けたり，西条の水を利用している人にインタビューをしたりすることにより，児童にこだわりをもたせる。その上で，仕込み水，市販のミネラルウォーター，水道水の飲み比べを通して，「西条の水はおいしい」という児童の思い込みをひっくり返し，追求への意欲を掻き立てる。（追求力）
・体験活動で分かったこととインタビューで得た情報を関連付けて次の追求活動を考えさせる。（追求力）

・西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターを利用したお茶・ご飯の味比べをする。（２）【追①】
・水の成分とおいしさの秘密について栄養教諭から話を聞き，試験紙で，西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターの硬度を調べる。（２）【追①】
・試験紙で，井戸によって水の硬度がちがうことを確かめる。（１）【追①】
・個人の計画を基に，課題解決に向け調査する。（放課後等）【追①】
・ＧＴに来ていただき，龍王山と西条の水の関係についての話を聞く。（１）【追④】
・酒造会社の方に来ていただき，酒造りと水の関係や酒造りと西条の発展の関係など，西条の水についての話を聞く。（１）【追④】

整理・分析

・集めた情報を整理し，西条の水の価値について話し合い，キャッチコピーを考える。（２）【追②評②】

振り返り

・西条の水についてのイメージマップを加筆・修正する。（１）【評①】

○西条の水のナゾを伝えよう（９）

課題の設定

・児童・保護者アンケートの結果を知り，多くの人に西条の水のナゾを伝えるために，グループで新聞を書き，展示する計画を立てる。（２）【課②】

まとめ・創造・表現

・新聞の書き方を知る。（国語科２）
・これまでの体験や調査内容を再構成し，グループで新聞を書く。（５）【追③⑤】
・新聞を読み合う。（国語科１）

実行

・新聞を用いて保護者に西条の水のナゾを伝える。（１）【追⑤】
・新聞を用いて５・６年生に西条の水のナゾを伝える。（朝の時間）
・新聞を展示する場所を話し合い，校内外に展示する。（放課後等）

振り返り

・単元の学習を振り返る。（１）【評①②】

【情報の収集】
・栄養教諭や専門家，酒造会社の方の話を聞くことにより，児童の追求の視点を味から水の性質，龍王山との関係，西条の発展との関係と移し，児童が問いを連続してもつようにするとともに，西条の水への理解を広げたり深めたりする。（追求力）

【整理・分析】
・集めた情報をクラゲチャートで関連付けさせ，西条の水の価値について考えさせる。（追求力）

【振り返り】
・オリエンテーションで書いた「西条の水イメージマップ」を書き足したり修正したりし，西条の水への理解の深まりや自分の見方の変容を明らかにする。（評価力）

【課題の設定】
・西条の水についての全校児童・保護者アンケートの結果を提示することにより，西条に住む児童・保護者でさえ西条の水について多くを知らないという事実を捉えさせ，多くの人に西条の水について知らせなければならないという必要感を高める。（課題発見力）
・新聞を展示する場所を座標軸（視点：効果が高い・実現可能）に表しながら考えさせることにより，場所の特徴を比較し，実現可能で効果の高いものを選択できるようにする。（追求力）

【まとめ・創造・表現】
・「課題の設定」で分析したアンケート結果と関連付けて，新聞の構成を考えさせる。（追求力）

【実行】
・「課題の設定」で考えた校内外の場所に新聞を展示してもらうよう，児童に交渉にあたらせる。（追求力）

【振り返り】
・ビフォー・アフターシートを活用し，自らの考えの変容や成長を自覚することができるようにする。（評価力）

４　本時の目標（１／33）

オリエンテーションを通して，西条の水に関心をもつことができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	１　第３学年での総合的な学習の時間について振り返り，本時の学習課題を設定する。（５分）	全体	・昨年度は西条小学校の歴史について探究したことを，画像を提示しながら振り返り，本年度の総合的な学習の時間への期待を高める。
	学習課題　４年生での総合的な学習の時間について知ろう。		
深め・拡げる	２　本年度の総合的な学習の時間では，西条の水を学習対象とすることを知る。(15 分) ・井戸を見たことがあります。でも，飲んだことはありません。 ・私の家の近くに，井戸があります。 ・うちは，井戸の水を汲んできて，飲んだり料理に使ったりしています。 ・お母さんが井戸の水はおいしいと言っていました。	↓	・西条の特産品である日本酒の原料は，米と水であること，西条酒に使われる仕込み水を誰でも飲めるよう各酒造会社が井戸を開放していることを，画像を提示しながら説明する。 ・説明の途中，西条の水を飲んだことがある，知っていることがあるという児童に話をさせる。
	３　西条の水について知っていることをイメージマップにかく。（５分） ・西条の水は，酒を造るのに使われることぐらいしか知らないな。 ・西条の水について，何も知らない。イメージマップに全然かけない。	個人 ↓	課題発見力引き出しポイント ・西条の水について知っていることをイメージマップにかかせることにより，身近にある西条の水について意外と知らないということを自覚させる。 ◇西条の水について知らない場合は，イメージマップにかけなくてもよいことを知らせる。
	４　イメージマップにかいたことを交流し，次時の活動を設定する。（15 分） ・西条にはどんな井戸があるか，知りたいです。 ・西条の水を飲んだことがないから，飲んでみたいです。	全体 ↓	・みんな西条の水についてよく知らないことを確認した後，西条の水について知るために，どんなことをしたいかを話し合わせ，次時の活動として西条の水の試飲体験を設定する。
／まとめ・つなげる	５　本時の学習をまとめる。（５分） ・イメージマップにたくさんのことがかけるように，西条の水について調べたいです。 ・西条の水は本当においしいのかを確かめたいです。	個人	・ビフォー・アフターシートにこれからの学習でやってみたいことや知りたいこと，頑張りたいことを書かせる。 ◎西条の水に関心をもっている。 （ビフォー・アフターシート）

4　本時の目標（２～３／33）

西条の水の試飲体験を通して，西条の水に対する疑問や驚き等をもつことができる。

5　本時の展開

学習過程　　（移動時間 35 分）

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　活動の目的を確認し，学習課題を設定する。（２分）	全体	・本時は各酒造会社の井戸を巡って西条の水の試飲体験を行うことを確認し，学習課題を設定する。
	学習課題　西条の水についてたくさんの発見や疑問をもとう。		
	2　諸注意を聞く。（３分） 3　各酒造会社の井戸を巡り，西条の水を試飲する。（30 分）	↓ グループ	・安全面の諸注意を行う。 ・四つの井戸を巡り，仕込み水の試飲体験を行う。
	・冷たくておいしい。 ・いつも飲んでいる水より，おいしい。 ・甘い気がする。 ・水道水はにおいがあるけど，西条の水にはにおいがない。 ・さっき飲んだ水と味が違う気がする。 ・ぼくは，こっちの水の方が好きだな。		課題発見力引き出しポイント ・普段飲んでいる水と西条の水，各井戸の水を比較しながら味わわせる。 ・井戸の様子にも着目するよう，助言する。
		↓	・無理に飲まなくても，なめてみるだけでもよいことを伝える。 ・感想や気付きを自由に話させる。
	4　西条の水を試飲してもった疑問や感想を書く。（15 分）	個人	・帰校してから西条の水の試飲体験を通してもった疑問や驚き等をワークシートに書き出させる。 ◇普段飲んでいる水の味と西条の水の味，井戸ごとの水の味を比較してどのような感想をもったか，井戸の様子はどうだったか，対話を通して想起させる。
	・西条の水は，いつも飲んでいる水（水道水）よりおいしかった。 ・西条の水は，どうして甘いのだろう。 ・ぼくは，○○の井戸の水が一番おいしかった。 ・同じ西条の水なのに，どうして味が違うのだろう。 ・途中に他の井戸もあった。全部の井戸の水を飲んでみたい。 ・井戸水を汲みに来ている人がいた。 ・どうして，自由に水を汲めるようにしているのだろう。	↓	◎西条の水を試飲し，疑問や驚き等をもっている。（ワークシート）
	5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（５分）	全体	・数名の児童に疑問や感想等を発表させ，身近にある西条の水だが，それについて知らないことが多いことを自覚させた上で，単元を貫く課題「西条の水のナゾを追おう」を設定する。 ・次時は，追求していく具体的な課題を考えることを知らせる。

４　本時の目標（４～５／33）

西条の水の試飲体験を通してもった疑問や驚き等を基に課題を設定し，学習計画を立てることができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　前時を想起し，学習課題を設定する。（２分）	全体↓	・本時は西条の水のどんなナゾを追うのか，具体的な課題を立てることを確認し，学習課題を設定する。
	学習課題　西条の水のどんなナゾを追うのかを考えて学習計画を立てよう。		
	2　試飲体験でもった疑問や驚き等を基に，どんなことを追求したいか，付箋に書き出す。（15 分） ・西条の水はどうしておいしいのかを知りたい。 ・井戸ごとに味が違うのかを知りたい。 ・西条の水は酒造り以外に何に使われているんだろう。 ・西条の水はどこから来ているのかな。	個人↓	・前時に書いたワークシートを見ながら，知りたいことや調べたいことを書き出させる。 ・一つの付箋に一つの事柄を書くこと，一文で簡潔に書くこと，名前を書くこと，付箋の向きを確認する。 ◇前時に書いたワークシートを見ながら，書き方の例を示す。
	3　グループで付箋を出し合い，比較・分類し，見出しを付ける。（20 分） 4　各グループで付けた見出しを交流し，追求していきたい課題を話し合う。（30 分） ・ぼくたちのグループでは，西条の水の味について疑問をもっている人が多かったです。 ・わたしたちのグループでは，西条の全部の井戸の名前を知りたいという意見が出ました。 ・西条の水の使い方を知りたいです。 ・西条の水はどこからどのようにして来ているのかを調べたいです。	グループ↓全体↓	課題発見力引き出しポイント ・各自が追求したい事柄を比較・分類し，見出しを付けさせることにより，自分達が何に関心があり，どんなことを追求したいと考えているのかを明確にさせる。 ・各グループから出された見出しを，類型化しながら板書し，課題にまとめていく。
	5　追求の方法を考え，大まかな学習計画を立てる。（18 分） ・西条の水の味については，他の水と飲み比べたり，井戸ごとの水を飲み比べたりするといいです。 ・井戸の水を汲みに来ている人に，西条の水を何に使っているのかをインタビューすればいいと思います。	全体↓	・学級で関心の高い事柄から追求していくことを確認する。 ・調べる方法を例示し，それぞれの課題はどのような方法がふさわしいかを検討させて，大まかな学習計画を立てていく。 ◎西条の水の試飲体験を通してもった疑問や驚き等を基に，KJ 法的な手法を使って課題を設定し，学習計画を立てている。（グループのワークシート）
	6　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（５分）	全体	・次時からは酒蔵通りにどんな井戸があるかを追求していくことを確認する。

４　本時の目標（６～７／33）

酒蔵通りにある井戸やそれを提供している酒造会社をインターネットや資料で調べることができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　前時を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体↓	・本時は，前時に立てた学習計画に沿って，酒蔵通りにある井戸の名前を調べることを確認する。
	学習課題　酒蔵通りにある井戸やそれを提供している酒造会社の名前を調べよう。		
	2　インターネットや資料から酒蔵通りにある井戸の名前や井戸を提供している酒造会社を調べる。（45 分） ・賀茂鶴→福神井戸 ・西条鶴→天保井水 ・白牡丹-冥加の水，いちの水 ・亀齢→万年亀井戸，かみの水 ・賀茂泉→次郎丸井戸 ・福美人→恵比寿二号井戸 ・山陽鶴→黒松の井戸	個人↓	追求力引き出しポイント ・酒蔵通り観光マップやパンフレットを準備しておき，調べる方法を一人一人に選択させる。自分が集めた資料があれば，それを用いて調べてもよいこととする。 ・酒蔵通りの地図に井戸の位置を記したワークシートに記入させる。 ◇一定時間を過ぎても情報を得られない児童がいる場合は，情報を得た児童にどのようにして情報を得たのかを発表させる。 ◎酒蔵通りにある井戸やそれを提供している酒造会社をインターネットや資料で調べている。（ワークシート）
	3　調べて分かったことを交流する。（25 分） ・どの酒蔵も井戸を提供しています。 ・井戸にはそれぞれ名前がついています。 ・西条の水は，中硬水で酒造りに合った水だと書いてありました。 ・龍王山から 15 年かけて流れてくることが分かりました。	全体↓	・拡大した地図に井戸の名前や酒造会社を書きこみながら確認する。併せて，井戸の様子が分かるよう，画像も提示する。 ・井戸について調べる中で得たその他の情報も発表させる。
	4　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（17 分） ・この間は，福神井戸，冥加の水，いちの水，天保井水を飲んだから，他の井戸の水を飲んでみたいです。 ・中硬水というのは，どういう意味なのか知りたいです。 ・西条の水は，龍王山からどうやって流れてきているのか知りたいです。	個人↓全体	・本時の学習感想や次にやってみたいこと，新たにもった疑問を書かせ，交流させる。 ・児童の感想ややってみたいことを基に，一般に提供されている西条の水を集めて飲み比べるという次時の活動を設定する。

4　本時の目標（８／33）

各井戸の水を飲み比べることにより，同じ西条の水でも井戸ごとに水の味が違うことを実感し，お気に入りの水を決めることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　これまでの学習を想起し，学習課題を設定する。（３分） 学習課題　それぞれの井戸の水を飲み比べ，お気に入りの水を決めよう。 2　各井戸の水を飲み比べる。（15 分） オープンスペースの場の設定 各井戸の水 水をコップに汲んで飲み比べる ↓ ワークシートを記入する。 3　それぞれの水の味について話し合う。（10 分） ・恵比寿二号井戸の水は，甘くてとろっとしていました。 ・万年亀井戸の水は，すっきりとしていました。 ・天保井水は，苦みがありました。 ・黒松の井戸の水は，すっぱい気がしました。 4　お気に入りの水を決める。（５分） ・私は，万年亀井戸の水が一番気に入りました。理由は，すっきりとして飲みやすいからです。 ・ぼくは，恵比寿二号井戸の水をお気に入りにしました。なぜなら，甘くておいしかったからです。 5　本時の学習感想を書き，次時以降の活動を設定する。（12 分） ・西条の水は，水道水やミネラルウォーターよりも絶対においしいです。飲み比べてみると分かります。 ・西条の水を使っている人にインタビューしてみればいいです。	全体↓ 個人 ↓ 全体 ↓ 個人 ↓ 全体	・西条の水の試飲体験で井戸ごとに水の味が違うと言ったことや，前時に各井戸の水を飲み比べたいと言ったことを想起させる。 追求力引き出しポイント ・各井戸の水を飲み比べさせることにより，同じ西条の水でも味が違うことを実感させ，「西条の水の味のナゾを追う」という課題への追求意欲を高める。 ・それぞれの水の味を３段階で評価させ，味の特徴や食感など，気付いたことをメモさせる。 ・味を比べやすくするため，一人に二つのコップをもたせ，２種類ずつ飲み比べさせる。何度も飲み比べてよいこととする。 ◇西条の水の試飲体験で出された水の味を表す言葉を掲示しておき，それを参考にして味を表現させる。 ・それぞれの水の味をどのように感じたかを話し合わせる。 ・各自が感じたことを話しやすいよう，味の感じ方には個人差があることを知らせる。 ・感じ方は違うが，井戸ごとに水の味が違うことを押さえる。 ◎試飲した感想を基に，自分のお気に入りの水を決めている。（ワークシート） ◇友達の意見を聞いて水の味を確かめたい児童やどの水にするか迷っている児童には，もう一度試飲させる。 ・「西条の水はおいしい」という感想を取り上げて，「西条の水は本当においしいのか」と切り返し，次時以降の活動（西条の水を利用する人のインタビューや水道水・ミネラルウォーターとの飲み比べ）を児童から引き出す。

4　本時の目標（９／33）

西条の水のおいしさを確かめるために，インタビューする相手と内容を考えることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　前時の学習を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体↓	・前時に，西条の水のおいしさを確かめたいという思いをもったこと，その方法の一つとしてインタビューが出されたことを確認する。
	学習課題　西条の水のおいしさを確かめるために，インタビューの相手や内容を考えよう。		
深め・拡げる／	2　インタビューをする相手を考える。（10 分） ・井戸には，西条の水を汲みに来ている人がいました。おいしいから，汲みに来ているのだと思います。その人達にインタビューをすればいいです。 ・井戸は酒造会社が提供しているのだから，酒造会社の人に聞けば分かると思います。 ・酒蔵通りにあるくぐり門コーヒーは，西条の水を使っていると聞いたことがあります。西条の水がおいしいから使っているのだと思います。	全体↓	・西条の水の試飲体験や見たり聞いたりしたことを想起させ，西条の水のおいしさを知っていそうな人を考えさせる。 ・くぐり門コーヒーなど，西条の水を利用している店について，児童から出されない場合は，指導者が紹介する。 ◎西条の水のおいしさを確かめるために，インタビューする相手を考えている。（行動観察）
	3　酒造会社やくぐり門コーヒーの人に聞く内容を考える。（10 分） ・どこの水を使っているのか。 ・なぜ，西条の水を使うのか。 ・西条の水を使うとよいもの。 ・なぜ誰でも自由に井戸水を飲めるようにしたのか。	個人↓全体↓	・西条の水のおいしさを確かめるという視点で考えさせる。 ◇どのようなことを聞けば，西条の水のおいしさが確かめられるか，対話をしながら考えさせる。
	4　西条の水を汲みに来ている人に聞く内容を考え，フリップボードを作る。（20 分） 私たち西条小学校４年生は，西条の水について調べています。アンケートにご協力おねがいします。 ①どこから来られましたか。 西条町 / 高屋町 / 八本松町 / 東広島市 / 広島県内 / 県外 ②何に使っていますか。 飲む / 料理・茶 / 植物 / その他 ③どうして西条の水を使うのですか。	個人↓全体↓個人↓	・インタビューの内容を話し合った後，同じ項目でフリップボードを作らせる。 追求力引き出しポイント ・自分のフリップボードを作成させることにより，インタビュー活動への自信をもたせるとともに，活動意欲を高める。 ◎西条の水のおいしさを確かめるために，インタビューする内容を考えている。（ワークシート）
／まとめ・つなげる	5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（２分）	全体	・次時は，西条の水のおいしさを確かめるために，酒蔵通りでインタビューをすることを確認する。

４　本時の目標（10～11／33）

西条の水のおいしさを確かめるために，西条の水を汲みに来ている人にインタビューし，情報を集めることができる。

５　本時の展開

学習過程　　（移動時間 35 分）

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	１　本時の活動の目的を確認し，学習課題を設定する。（３分）	全体	・本時は，西条の水のおいしさを確かめるために，西条の水を汲みに来ている人にインタビューすることを確認する。
	学習課題　西条の水のおいしさを確かめるために，インタビューをして情報を集めよう。		
	２　諸注意を聞く。（５分）	↓	・安全面の諸注意やインタビューをするときに気を付けることを確認する。
	３　西条の水を汲みに来ている人にインタビューを行う。（40 分） 〇〇井戸（井戸は全部で６か所） ・児童６～７名 ・教職員または，保護者ボランティア１～２名 ・「今，よろしいですか。」と聞いて許可を得てからインタビューを始める。 ・相手に聞こえる声で，相手の目を見ながら話す。 ・フリップボードを見せながらインタビューをする。 ・インタビューの後は，「ありがとうございました。」とお礼を言う。	ペア ↓	追求力引き出しポイント ・全員が役割をもつよう，ペアで交代しながらインタビューを行うようにする。 ◇勇気を出して声をかけるよう励ましたり，どのように声をかければよいかを助言したりする。 ◎西条の水を汲みに来ている人に進んでインタビューし，情報を集めている。（ワークシート）
	４　本時の学習を振り返る。（７分） ・自分達だけで知らない人にインタビューするのは初めてだったのでどきどきしました。でも，相手に聞こえる声で，目を見ながらインタビューするように気を付けました。 ・インタビューした方から，「はきはきしていて，いいね。」と言われました。恥ずかしかったけれど，声の大きさや目線を気を付けたからだと思います。	個人 ↓ 全体	・帰校してから，本時の活動を振り返り，がんばったことやこれからに生かしたいことなどを書かせ，自己の努力やその成果を自覚させる。 ・次時は，インタビューした結果を考察し，西条の水のおいしさを確かめていくことを確認する。

4　本時の目標（12～13／33）

西条の水を利用している人にインタビューした結果をまとめ，西条の水のおいしさについて自分の考えをもつことができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　本時の目的を確認し，学習課題を設定する。（３分） 学習課題　インタビューした結果をまとめ，西条の水のおいしさを確かめよう。 2　グループでインタビューした結果をまとめる。（17 分） 3　全体でインタビューした結果をまとめる。（25 分） 4　インタビューの結果から西条の水はおいしいと言えるのかを話し合う。（20 分） ・高屋町の人は，毎週来ていると言っていました。西条の水はおいしいから汲みに来ているのだそうです。それくらい，西条の水はおいしくて人気があるのだと思います。 ・八本松町の人は，西条に来た時は必ず水を汲むのだそうです。お茶や料理に使うとおいしいと言っていました。 5　酒造会社とくぐり門コーヒーの方へのインタビューのビデオを視聴する。（15 分） ・西条の水には，ミネラルが含まれていて，酒の発酵を進ませるので，おいしい酒ができる。 ・井戸によって水の味が違うから，発酵の仕方も違い酒の味も変わる。 ・西条の水は，酒造りだけでなく，コーヒーやお茶，味噌汁，パンやピザの生地づくりにもよい。 ・10 年位前，地元の人や観光客に楽しんでもらえるよう，井戸を酒蔵通りに出した。 6　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（10 分） ・西条の水はおいしくて，人気の水です。理由は，いろいろな人がおいしいから汲みに来ているし，くぐり門の店長さんが「酒を造る水でコーヒーを入れたらおいしいだろうと思った」と言っていたからです。 ・西條鶴の社長さんが，「西条の水があるから，西条の酒がおいしい」と言っていました。おいしい酒のもとになる水だからおいしいのだと思います。だから，評判になって，いろいろな人が水を汲みに来るのだと思います。	全体↓ グループ↓全体 ↓ 個人 ↓ 全体	・本時は，インタビューした結果をまとめ，西条の水がおいしいのかを確かめることを確認する。 ・各井戸で人数や西条の水の使い道，西条の水を使う理由をまとめさせる。 ・各井戸の結果を合わせ，学級の結果としてまとめていく。 ・人数などの数値は，グラフに表させる。 追求力引き出しポイント ・インタビュー結果を考察し，そこから自らの主張を考えさせることで，西条の水へのこだわりをもたせる。 ◇西条の水はおいしいと言えるのか，どの結果からそう考えたのかを対話をしながら考えさせる。 ・酒造会社とくぐり門コーヒーの方へのインタビューは，代表児童で行っておく。 ・酒造会社やくぐり門コーヒーの方には，児童の質問に答える形で，西条の水が酒造りに適している理由や西条の水を使うとおいしいものを説明していただくように事前に依頼しておく。 ・インタビューを行った代表児童に大まかな内容を説明させた後，ビデオを視聴する。 ・本時の学習を振り返り，西条の水のおいしさについて自分の考えを書かせる。 ◇本時の学習で一番心に残ったことを問い，西条の水のおいしさと関連付けさせる。 ◎西条の水のおいしさについて自分の考えをもっている。（ワークシート） ・次時は，西条の水のおいしさを自分で確かめるために，ミネラルウォーターや水道水との飲み比べを行うことを確認する。

4　本時の目標（14／33）

西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターを飲み比べることを通して，西条の水の味について調べるとともに，別の視点から西条の水のおいしさを捉え直そうとすることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　本時の活動の目的を確認し，課題を設定する。（３分） 学習課題　水の飲み比べをして，西条の水のおいしさを確かめよう。 2　三つの水を飲み比べ，西条の水，水道水，ミネラルウォーターを予想する。（15 分） ・Ａの水は，甘くておいしいから西条の水だね。Ｂの水はあまりおいしくないから，水道水だよ。ＣはＡとＢのおいしさの中間だから，きっとミネラルウォーターだよ。 3　どれがどの水かを知る。（５分） ・「おいしい」と言った人が多かったＡはミネラルウォーターなの。 ・西条の水の方がおいしいと思っていたのに，なぜだろう。 ・お茶を入れたり酒を造ったりするには，西条の水の方がおいしんだよ。 4　西条の水のおいしさについて考える。（15 分） もしコーヒーを入れたら／西条の水の方がおいしい／喫茶店の人がインタビューで言っていた おおむね満足できる状況 ・喫茶店の人が「西条の水でコーヒーをいれるとおいしい」と言っていました。だから，コーヒーを入れるとおいしいのだと思います。 ・水を汲んでいる人は，「料理に使うといい」と言っていました。だから，料理で味を比べると西条の水の方がおいしいと思います。 5　次時以降にやりたい活動を話し合う。（７分） ・西条の水でお茶を入れると本当においしいのかを確かめたいです。 ・西条の水を使って料理をしてみたいです。	全体↓ グループ↓全体↓ グループ↓全体↓ 個人↓全体	・前時までの学習を振り返り，本時の目的を確認する。 追求力引き出しポイント ・児童の思い込みと現実の水のおいしさとのずれが大きくなるよう，西条の水の中で各自が一番おいしいと思う水を使って飲み比べを行うようにする。 ・味だけでどの水かを予想させ，予想した根拠を交流させることにより，「西条の水＝おいしい」と思い込んでいる児童の実態を浮き彫りにする。 ・どれがどの水かを知らせた後，「西条の水はたいしておいしくないということだね」と揺さぶりをかけ，児童の西条の水へのこだわりを刺激する。 ・キャンディ・チャートを用い，根拠を明らかにしながら別の視点で西条の水のおいしさを考えさせる。 ◇インタビューした人の西条の水の利用目的とその理由を問い，そこから西条の水のおいしさを考えてみるよう助言する。 ◇インタビューと関連付けて考えられないグループが多い場合は，酒造会社の方のインタビュー映像を見せる。 ◎インタビュー内容と関連付けて別の視点から西条の水のおいしさを捉え直そうとしている。（ワークシート） ・本時の学習を振り返らせ，やってみたいことや，確かめたいことを話し合わせて，次時以降の活動（お茶やご飯の味比べ）を設定する。

4　本時の目標（15～16／33）

西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターを利用したお茶・ご飯の味比べを通して，西条の水の味について新たな疑問をもつことができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　前時の学習を想起し，学習課題を設定する。（５分）	全体↓	・前時に，西条の水のおいしさを確かめるために，お茶やご飯の味比べをしたいという思いをもったことを想起させる。
	学習課題　西条の水のおいしさを確かめるために，お茶やご飯の味比べをしよう。		
深め・拡げる	2　西条の水，水道水，市販のミネラルウォーターを利用したお茶やご飯の味比べをする。（45 分） ・Ａのお茶は，いつも飲んでいる味に近いから，ミネラルウォーターだと思います。 ・Ｂのお茶は，一番濃いくて，甘い気がしました。西条の水は甘かったから，Ｂが西条の水だと思います。 ・Ｃのお茶は，薄くておいしくなかったから，水道水です。 ・Ａのご飯は，Ｂほど甘くないけど，Ｃよりおいしいです。だから，ミネラルウォーターだと思います。 ・Ｂのご飯は，一番甘くておいしかったです。くぐり門コーヒーの店長さんが「西条の水でご飯を炊くとおいしい」と言っていたので，Ｂは西条の水だと思います。 ・Ｃのご飯は，何かにおいがしました。だから，水道水だと思います。	グループ↓全体↓	・お茶やご飯は，代表児童と共に事前に準備しておく。 追求力引き出しポイント ・味を比べる前に，お茶の色やご飯の見た目を観察させ，ご飯の見た目には違いはないが，お茶の色が違っていることに着目させる。 ・味だけでどれがどの水を使っているのかを予想させた後，どれがどの水を使ったものかを知らせる。このことにより，「西条の水が一番おいしい」という児童の予想と，お茶やご飯に利用した場合もミネラルウォーターの方がおいしいという現実のずれを生じさせ，新たな疑問につなげる。 ・理由を考える際は，水の飲み比べやインタビューから得た情報と関連付けさせる。
	3　お茶やご飯の味比べを行った感想や疑問を交流する。（30 分） ・インタビューで「西条の水を使ってお茶や料理をするとおいしい」と聞いたけど，実際はミネラルウォーターがおいしいという人が一番多くて，驚きました。 ・どうして水によってお茶の色が違ったのか不思議に思いました。 ・どうしてミネラルウォーターをおいしいと感じる人が多いのかを調べたいです。 ・西条の水を使うと一番おいしいものは何かを知りたいです。	全体↓個人↓全体↓	・どれがどの水を使ったものかを知らせ，思ったことを自由に発言させ，疑問や知りたいことを考えさせる。 ◇正解だけでなく，自分達の予想と現実とのずれに目が向くよう，ミネラルウォーターがおいしいと言う人が一番多いことを押さえて疑問や知りたいことを考えさせる。 ◎西条の水の味について新たな疑問をもっている。（ワークシート・行動観察）
／まとめ・つなげる	4　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（10 分）	全体	・児童から出された疑問等を類型化して板書しておき，今後追求していく具体的な課題を明確にする。 ・水の味と成分について栄養教諭に聞くことを提案し，次時の活動につなげる。

4　本時の目標（17／33）

栄養教諭の話を聞き，水の成分と味の関係を理解することができる。

5　本時の展開

学習過程

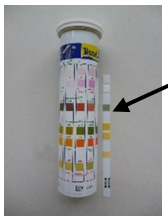
展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　本時の目的を確認し，学習課題を設定する。（３分）	全体	・本時は，前時に新たに設定した課題「水の味が違う理由」について，栄養教諭から話を聞くことを確認する。
	学習課題　水によって味がちがう理由を栄養教諭の先生に教えてもらおう。		
	2　栄養教諭の話を聞く。（25 分） ・水にはミネラル（カルシウム・マグネシウム）が含まれており，その量で軟水と硬水に分かれる。西条の水はその間の中硬水。 ・山に降った雨が地下水になり，流れている。水が地下を通る時，岩に含まれるミネラルが溶け出す。地下を通る道が短い日本は軟水，ヨーロッパなど地下を通る道が長い国は硬水が多い。 ・飲みやすいのは軟水と言われ，硬水は癖があって飲みにくい。 ・日本料理には軟水がよいと言われ，出汁をとったりお茶を入れたりするには軟水が適している。一方，あくをとったり，肉を煮込んだりするのには硬水が適しており，ヨーロッパなどの料理には硬水が適している。 ・酒造りには硬水が適しており，西条の水は中硬水なので，軟水よりは酒造りに適している。	↓	追求力引き出しポイント ・栄養教諭の話を聞く活動を取り入れることにより，児童の追求の視点を「水の味」から水の成分へと移し，西条の水への理解を広げたり深めたりする。 ・栄養教諭の説明を聞いた後，質問する時間を設ける。 ・西条の水は，天然の水なので水道水よりはおいしいが，中硬水なので軟水のミネラルウォーターよりはおいしくないこと，しかし，西条の酒造りには西条の水が適していることを押さえる。
	3　栄養教諭の話を聞いて分かったことやもっと知りたいことをまとめる。（15 分） ・水の味が違ったのは，ミネラルの量の違いだということが分かりました。 ・中硬水の西条の水よりも，軟水のミネラルウォーターの方が，生で飲むのも，お茶や料理にするのもおいしいということが分かりました。 ・でも，酒造りには，中硬水の西条の酒が適しています。酒造会社の人は「西条の水があるから，おいしい酒ができる」と言っていました。 ・西条の水は井戸ごとに味が違っていたので，ミネラルの量が違うのだと思います。確かめてみたいです。	個人 ↓ 全体 ↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：関連付け〉 ・栄養教諭の話を聞いて分かったことやもっと知りたいことをまとめさせる。その際，これまでの活動で得た情報と関連付けさせる。 ◇「なぜ，水の味が違ったのだろう」「西条の水よりもミネラルウォーターの方がおいしいと言った人が多かったのはなぜだろう」と栄養教諭の話とこれまでに得た情報とを関連付けて考えられるような問いかけをする。 ◎水の成分と味の関係を理解している。 （ワークシート）
	4　次時につなげる。（２分）	全体	・水の硬度を測定できる試験紙があることを知らせ，次時は，試験紙を用いて西条の水，水道水，ミネラルウォーターの硬度を調べようと提案する。

4　本時の目標（18／33）

試験紙で西条の水，水道水，ミネラルウォーターの硬度を調べ，水の成分と味の関係への理解を深める。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　前時を想起し，学習課題を設定する。（５分）	全体	・前時の栄養教諭の話を想起させ，本時は水の硬度を測定することを確認する。
	学習課題　西条の水，水道水，ミネラルウォーターの硬度を調べよう。		
	2　試験紙の使い方や硬度の測り方を知る。（10 分） ・水の中に試験紙を５秒つける。 ・どの試験紙がどの水につけたものかが分かるよう，指定した場所に試験紙を置く。  写真の色と試験紙の色を比較して硬度を測る。	↓	・各グループに一つの実験セットを配付する。 ・実験の手順を分かりやすく板書する。 ・数値が高いほど硬度が高いことを確認する。 ・西条の水は，西条の水の中でも一番硬度の高い天保井水を用いる。
	3　試験紙を用いて水の硬度を調べる。（15 分）	グループ↓全体↓個人↓全体	追求力引き出しポイント ・栄養教諭から聞いた話を実際に自分の目で確かめる体験的な活動を仕組み，西条の水を科学的な視点で見るようにする。
	4　結果を確認する。（５分） ・西条の水は，硬度が８°でした。 ・水道水とミネラルウォーターの硬度は，０°でした。 ・西条の水の方が，硬度が高いことが分かります。		・多くのグループから出された結果を用いて結論付けることを指導する。
	5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（10 分） ・水道水とミネラルウォーターの硬度は０°，西条の水の硬度は８°でした。西条の水は中硬水なので，水道水やミネラルウォーターよりも，硬度が高いことが確かめられました。 ・ミネラルウォーターは西条の水よりも硬度が低いから飲みやすく，「おいしい」と言う人が多かったのだと思います。		・実験結果と水の味の違いを関連付けて本時の学習をまとめさせる。 ◇話型を参考にまとめさせる。 ◎水の成分と水の味の関係への理解を深めている。（ワークシート） ・次時は，前時に確かめたいこととして出された井戸による水の硬度の違いを確かめることを確認する。

4　本時の目標（19／33）

試験紙で井戸ごとに水の硬度が違うことを確かめ，西条の水についての新たな疑問をもつことができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　前時までの学習を想起し，学習課題を設定する。（５分）	全体↓	・栄養教諭の話や前時の実験を想起させ，本時は井戸による水の硬度の違いを確かめることを確認する。
	学習課題　井戸水の硬度を調べよう。		
	2　試験紙を用いて水の硬度を調べる。（15 分）	グループ↓全体↓	・実験の手順を確認する。 ・西条の水の中でも一番硬度の高い天保井水と一番硬度の低い冥加の水を用いる。
	3　結果を確認する。（５分） ・天保井水の硬度は，８°でした。 ・冥加の水の硬度は，０°でした。 ・天保井水の方が，硬度が高いことが分かります。		・多くのグループから出された結果を用いて結論付けることを指導する。
深め・拡げる	4　本時の学習で分かったことや新たにもった疑問を話し合う。（18 分） ・西条の水は，井戸によって水の硬度が違うから，味が違うことが分かりました。 ・どうして，同じ西条の水なのに，硬度が違うのかを知りたいです。 ・井戸のある場所が違うから，水の硬度が違うのだと思います。 ・水は地下を通って井戸に来ています。その通り道が違うから水の硬度が違うのだと思います。 ・栄養教諭の先生が，水が地下を通る時，岩のミネラルが溶け出すと言っていました。水の通り道によって，岩が違うからミネラルの量が違って，硬度が違うのだと思います。 ・西条の水の硬度が違う理由について詳しいことを知りたいです。	全体↓ ↓ 個人↓	・実験結果と水の味の違いを関連付けて本時の学習をまとめさせる。 追求力引き出しポイント ・分かったことだけでなく，新たにもった疑問を出し合い，予想を立てさせることにより，「もっと知りたい」「予想が合っているか確かめたい」という追求意欲を高める。 ・全体での話合いをふまえて，今後知りたいことや調べたいことを書かせる。 ◇友達の発言を参考に考えさせる。 ◎西条の水への新たな疑問をもっている。（ワークシート）
／まとめ・つなげる	5　次時につなげる。（２分）	全体	・西条の水に詳しい専門家を紹介し，次時はその方に詳しい話を聞くことを知らせる。

4　本時の目標（20／33）

専門家の話を聞き，西条の水と龍王山との関係を理解することができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ	1　前時の学習を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体	・同じ西条の水であっても，井戸によって硬度が違うことについて疑問をもったことを想起させる。
	学習課題　なぜ井戸によって水の硬度が違うのか，小倉先生に教えてもらおう。		
／ 深め・拡げる	2　専門家の話を聞く。（30 分） ・西条の水は龍王山から約 50 年かけて流れて来ている。龍王山に降った雨が地下水となり，流れて下りる。 ・その間に，流紋岩と花崗岩の入り混じった地層から，カルシウムやマグネシウムが溶け出てきて，源流域の軟水を中硬水に変える。 ・井戸によって水の硬度が違うのは，地下水が通る道がそれぞれ違っているから。どんな地層を通ってくるかで硬度が違ってくる。井戸によって水の味が違うのは，硬度が違うから。 ・酒蔵通り地帯の水の硬度の平均は，約 80 ㎎／Ｌで，すっきりとしたおいしいお酒のできる水。 ・西条の水は，自然の山や緑が生み出す「お宝の水」。	↓	追求力引き出しポイント ・井戸によって水の硬度が違う理由を専門家から聞くことにより，児童の追求の視点を水の味から龍王山との関係に移行させる。 ・事前に打合せを行っておき，井戸によって水の硬度が違う理由を中心に話をしていただく。 ・専門家に質問する時間を設ける。
／ まとめ・つなげる	3　専門家の話を聞いて分かったことやもっと知りたいことをまとめる。（10 分） ・予想通り，井戸によって水の硬度が違うのは，地下水が通る道が違うからでした。 ・龍王山の湧水は軟水で，酒蔵通りの井戸では中硬水になっていると初めて知りました。 ・西条の水は，龍王山から 50 年もかけて流れてくるなんて，すごいなと思いました。 ・西条の水は自然が生み出す「お宝の水」なんだということが分かりました。 ・どうして西条の水は酒造りに適しているのかを知りたいです。	個人 ↓	・専門家の話を聞いて分かったことやもっと知りたいことをワークシートにまとめさせる。 ◇項目を提示し，対話をしながら専門家の話を想起させる。 ◎西条の水と龍王山との関係を理解している。（ワークシート） ・西条の水と酒造りの関係について触れている記述があれば，発表させる。
	4　次時につなげる。（２分）	全体	・次時は，酒造会社の方に来ていただき，西条の水と酒造りの関係について聞くことを提案する。

4　本時の目標（21／33）

酒造会社の方の話を聞き，西条の水と酒造りとの関係を理解することができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　前時を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体	・西条の水が酒造りに適していることについて疑問をもったことを想起させる。
	学習課題　なぜ西条の水は酒造りに合っているのか，前垣さんに教えてもらおう。		
	2　酒造会社の方の話を聞く。（30 分） ・酒造りには，硬度が高い水の方が，発酵が進んでよい。ミネラルが発酵を進める。西条の水は中硬水なので，軟水よりも酒造りに合っている。 ・昔は硬水でなければ，酒はうまくできなかったが，安芸津町の三浦仙三郎が「軟水醸造法」を開発して，中硬水や軟水でも酒が造れるようになった。 ・また，酒造りには鉄分が少ない水がよい。鉄分があると，お酒がおいしくなくなる。酒蔵通りの辺りは，鉄分の少ない中硬水が出る。酒蔵通りを過ぎると，鉄分の多い水になっている。 ・酒蔵通りにしか酒造りに適した水は出ておらず，まさに奇跡的。この水があったから，西条の伝統的な酒造りを行うことができる。	↓	追求力引き出しポイント ・西条の水が酒造りに適している理由を酒造会社の方から聞くことにより，児童の追求の視点を水の味から酒造りとの関係に移行させる。 ・事前に打合せを行っておき，西条の水と酒造りの関係を中心に話をしていただく。 ・酒造会社の方に質問する時間を設ける。
	3　酒造会社の方の話を聞いて分かったことや思ったことをまとめる。（10 分） ・西条の水は中硬水で，鉄分が少ないから酒造りに合っているということが分かりました。 ・西条の水があるから，西条のおいしい酒ができることが分かりました。 ・西条の水は，酒蔵通りの辺りにしか出ていないのは奇跡的だと思いました。 ・西条の水があったから，酒造りができて，今の西条があるのだと思いました。	個人 ↓	・酒造会社の方の話を聞いて分かったことや思ったことをワークシートにまとめさせる。 ◇項目を提示し，対話をしながら酒造会社の方の話を想起させる。 ◎西条の水と酒造りとの関係を理解している。（ワークシート） ・西条の町の発展や自分との関わりに触れている記述があれば，紹介する。
	4　次時につなげる。（２分）	全体	・次時は，これまでの情報を整理して，西条の水は西条の町にとってどんな存在なのかを考えることを知らせる。

4　本時の目標（22～23／33）

これまでに集めた情報を関連付けて西条の水の価値を考え，西条の水の価値を実感することができる。

5　本時の展開

学習過程

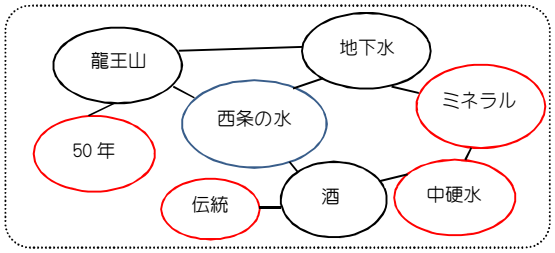
展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　これまでの学習を想起し，学習課題を設定する。（８分）	全体	・これまでの学習を，掲示を使って想起させ，本時の学習課題につなげる。
	学習課題　西条に住む私たちにとって，西条の水はどんな水なのかを考えよう。		
深め・拡げる	2　もし，西条の水がなかったらどうなっているのかを考える。（25 分） ・もし，西条の水がなかったら，西条は酒造りが盛んになっていないと思います。 ・西条の酒造りがなかったら酒祭りもありません。 ・西条の良いところがなくなります。 ・酒造りが有名でなかったら，西条小学校のオペラ「白壁の街」もできません。 ・良いところがないと，西条に人が集まってこなくなり，人口も減ると思います。 ・西条の水を利用することもできなくなり，人々はおいしい水を飲むことができないと思います。	↓	追求力引き出しポイント ・西条の水がなかったらどうなるかを考えさせることにより，西条の町に住む自分達にとって，西条の水はなくてはならないものであることを実感させる。 ・西条の町だけでなく，自分達への影響を考えさせ，西条の水と自分との関係を捉えさせる。
	3　西条の水のキャッチコピーについて話し合う。（40 分） ・僕達のグループは，安心・安全な水としました。西条の水はカルキが入っていないし，ミネラルが豊富でおいしく飲めるからです。 ・私達のグループは，西条を支える水としました。西条の水があるからこそ，酒造りができて町が有名になっているからです。 ・Ａさん達の意見を聞いて，西条の水は僕達にとって欠かせない水だと思いました。西条の水があるから酒造りが盛んになり，オペラ「白壁の街」もできるからです。	グループ ↓ 全体 ↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：関連付け〉 ・クラゲチャートを用いて，これまでに収集した情報や直前の話合いを相互に関連付けることで西条の水の価値を実感させ，キャッチコピーを考えさせる。 ・全体で話し合った後，西条の水を「奇跡の水」と話す専門家のビデオを視聴し，西条の水の価値への考えを深めさせる。
／まとめ・つなげる	4　西条の水の価値について，自分の考えを書く。（15 分） ・私も，西条の水は「奇跡の水」だと思いました。龍王山から 50 年もかけて流れてきて，酒蔵通りの辺りだけ鉄分の少ない，酒造りに合った水が出るからです。西条の水があるから，西条は酒造りが盛んになり，酒造りの町として有名になりました。西条の水は「奇跡の水」だし，西条の「宝」だと思います。	個人 ↓	・西条の水の価値について理由と共に自分の考えをビフォー・アフターシートに書かせる。 ◇話型を提示し，参考にさせる。 ◎これまで集めた情報を関連付けて西条の水の価値を書き，西条の水の価値を実感している。 （ビフォー・アフターシート・行動観察） ・考えを深めている児童の記述を全体に紹介する。
	5　次時につなげる。（２分）	全体	・次時はオリエンテーションでかいたイメージマップを加筆・修正することを知らせる。

4　本時の目標（24／33）

西条の水についてのイメージマップを加筆・修正することにより，自分の成長や今後の目標を自覚することができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　これまでの学習を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体↓	・これまでの学習を，掲示を使って想起させる。
	学習課題　これまでの学習を振り返ろう。		
	2　西条の水イメージマップを加筆・修正する。（20 分）  	個人↓	評価力引き出しポイント ・オリエンテーションで書いた西条の水イメージマップを書き足したり修正したりし，西条の水への理解の深まりや自分の見方の変容を明らかにする。 ・加筆・修正は赤鉛筆で行い，学習前後の変容が一目で分かるようにする。
	3　イメージマップを交流する。（10 分） ・私は，初め西条の水について龍王山から来る地下水だということは知っていました。そして，この学習を通して，西条の水はミネラルが多い中硬水だということが分かりました。そして，西条の水は酒造りに合っていて，西条の水があるから西条の伝統があるのだと思います。	全体↓	・実物投影機にイメージマップを写し，情報と情報の関連を説明させる。 ・友達の説明を聞いて，書き足してもよいこととする。
	4　これまでの活動を振り返り，今後の目標を考える。（12 分） よかったことやがんばったこと ・知らない人にインタビューするのは，すごく恥ずかしかったです。でも，西条の水について調べるために，勇気を出して，相手の目を見て，はっきりと質問しました。すると，相手の方から「しっかりしているね。」とほめてもらいました。 これから続けたいことややってみたいこと ・人と話をするときには，相手に伝わるような話し方をしたいです。 ・難しいなと思うことも，勇気を出してやってみようと思います。	個人	評価力引き出しポイント ・小単元の振り返りカードに記述させることにより，西条の水への理解が深まった要因や今後の目標を考えさせる。 ◇掲示を見ながら，児童のがんばりや今後続けていきたいことなどを一緒に考える。 ◎西条の水に対する自分の見方の変容に気付き自分の成長や今後の目標を自覚している。 （振り返りカード）

4　本時の目標（25／33）

児童・保護者アンケートの結果から，多くの人に西条の水について伝える必要性を感じ，課題を設定することができる。

5　本時の展開

学習過程

<table>
<tr><th>展開</th><th>主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕</th><th>形態</th><th>教師の働きかけ
◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て</th></tr>
<tr><td rowspan="2">つかむ
／
深め・拡げる</td><td>1　西条の水の価値を確認する。（５分）

2　児童・保護者アンケートの結果を知る。（８分）

西条の水に関するアンケートの結果
<table><tr><th>質問</th><th>全校児童</th><th>保護者</th></tr><tr><td>西条の酒造りに使われる井戸水がだれでも飲めるのを知っている。</td><td>51%</td><td>82%</td></tr><tr><td>西条の水がおいしいことを知っている。</td><td>51%</td><td>82%</td></tr><tr><td>西条の水がなぜおいしいか知っている。</td><td>30%</td><td>22%</td></tr><tr><td>西条の水が酒造りにいいことを知っている。</td><td>30%</td><td>64%</td></tr><tr><td>西条の水が龍王山からどれくらいの年月をかけて流れてきているか知っている。</td><td>21%</td><td>14%</td></tr></table>
3　本時の学習課題を設定する。（２分）</td><td>全体

↓</td><td>・西条の水のキャッチコピーとその理由を発表させ，西条の水の価値を確認する。

課題発見力引き出しポイント
・西条の水に関する児童・保護者アンケートの結果を提示することにより，西条に住む児童・保護者でさえ西条の水について多くを知らないという事実を捉えさせ，多くの人に西条の水について知らせなければならないという必要感を高める。

・アンケートの結果を知った感想を交流させ，学習課題につなげる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">学習課題　アンケートを分析して，人々に何を伝えるべきなのかを考えよう。</td></tr>
<tr><td>／
まとめ・つなげる</td><td>4　アンケートを分析する。（15 分）
・全校児童の半分の人しか，井戸のことも西条の水のおいしさのことも知りません。私も学習するまでは知りませんでした。
・全校児童は西条の水の存在やおいしさのことも知らないから，西条の水がおいしい理由も龍王山から 50 年もかけて流れてきていることも知らないのだと思います。
・保護者は全校児童よりは西条の水のことを知っているけど，西条の水のおいしさの理由や龍王山から 50 年もかけて流れてきていることは知りません。

5　人々に何を伝えればよいのかを話し合う。（10 分）
・全校児童には，井戸があって，自由に飲めることや西条の水はおいしいことを伝えればいいです。
・全校児童は，西条の水のことを知る人があまりいないので，あまり詳しくなくてもいいから，できるだけたくさんのことを知らせればいいです。
・保護者には，西条の水がおいしい理由や西条の水が龍王山から 50 年もかけて流れてきていることを詳しく知らせるといいです。

6　本時の学習を振り返る。（５分）
・僕は，保護者に西条の水がおいしい理由や井戸によって味が違うことを知ってもらいたいです。</td><td>グループ
↓
全体
↓
全体

↓

個人</td><td>課題発見力引き出しポイント
・アンケートの結果と自分達の認識，アンケートの項目と項目，全校児童の結果と保護者の結果，と様々な視点で比較させ，特に低い数値の項目に着目させることにより，何を伝えるべきなのかを明確にさせる。

◇特に低い数値の項目に着目させる。

・児童から出された考えを整理し，どの人に何を伝えるべきかを明確にしていく。
・保護者が知らないということは，地域の人や観光客も知らないだろうと推測して，西条の水のナゾを多くの人に知らせていくことを提案する。
・今回は，国語科の学習と関連させて，新聞を書いて人々に西条の水のナゾを伝えようと提案する。

・誰にどんなことを伝えたいのかをビフォー・アフターシートに書かせる。
◎誰にどんなことを伝えたいのか，具体的な課題を設定している。
（ビフォー・アフターシート）</td></tr>
</table>

4　本時の目標（26／33）

西条の水のナゾを多くの人々に知らせるという目的に照らして，新聞を貼る場所として実現可能で効果の高い場所を考えることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　前時を想起し，学習課題を設定する。（３分）	全体↓	・多くの人に新聞を読んでもらい，西条の水のナゾを知ってもらいたいという願いをもったことを想起させ，学習課題につなげる。
	学習課題 多くの人に新聞を読んでもらうためには，どこに新聞を貼ればよいのかを考えよう。		
深め・拡げる／	2　新聞を貼るとよい場所を考える。（５分） 校内 ・各学級の教室・オープン・図書室・体育館・児童玄関・正門・南門・トイレ前の掲示板・職員室前 校外 ・西条駅・くぐり門コーヒー・平田屋煎餅 ・ゆめタウン・市役所・くらら・井戸・公園 ・御建神社	グループ↓	・伝える対象が全校児童，保護者，地域の人々や観光客と広いことから，校内と校外に分けて考えさせる。 ・新聞を貼るとよい場所の条件を考えさせ，新聞を貼る場所がある所，人が多く集まり，立ち止まって読んでくれそうな所であることを押さえる。
	3　提案された場所が新聞を貼る場所としてふさわしいかを検討し，決定する。（25 分） ・南門は，実現可能だけれど，効果があまりないと思います。理由は，南門を通る人は，西条小学校の児童のうち一部だからです。 ・でも，結構たくさんの人が通ります。 ・だけど，南門の所で立ち止まって新聞を読む人は少ないと思います。もし，読んだとしても，登校中や下校中なので，危険だったり迷惑になったりすると思います。 ・それに，新聞をきちんと貼るスペースもありません。 ・公園も実現が難しいと思います。新聞を貼るスペースがありません。 ・私の家の近くの公園には，お知らせを貼れる掲示板があります。そこに貼ったらどうでしょう。 ・その公園には，どれくらいの人が来ますか。 ・いつも５～６人は遊びに来ています。 ・それでは，効果が低いと思います。新聞は，もっと多くの人が集まる場所に貼った方がいいです。	グループ↓ 全体↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：比較〉 ・新聞を展示する場所を座標軸（視点：効果が高い・実現可能）に表しながら考えさせることにより，場所の特徴を比較し，実現可能で効果の高いものを選択できるようにする。 ・校内，校外に分けて考えさせる。 ・提案された場所を効果が高い・実現可能のエリアに位置付け，ふさわしくないものを話し合わせる。 ◎西条の水のナゾを多くの人々に知らせるという目的に照らして，新聞を貼る場所として実現可能で効果の高い場所を考えている。 （行動観察）
／まとめ・つなげる	4　役割分担をする。（10 分）	全体↓	・新聞を貼る場所が多い場合は，一つの班が複数の場所を担当し，コピーを貼ることを提案する。 ・新聞を貼ってもらうよう自分達で交渉することを知らせる。
	5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（２分）	全体	・次時からは新聞を書いていくことを確認する。

4　本時の目標（27／33）

西条の水のナゾを多くの人に伝えるという目的をもち，アンケート結果と関連付けて，新聞の構成を考えることができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　活動の目的を確認し，学習課題を設定する。（３分）	全体↓	・多くの人に新聞を読んでもらい，西条の水のナゾを知ってもらうという目的を確認する。
	学習課題　多くの人に西条の水のナゾを伝えるために，新聞の構成を考えよう。		
深め・拡げる／	2　新聞記事の順序や見出し，写真，資料の配置の仕方について確認する。（５分） ・一番伝えたいことを一番上の目立つ位置に大きくスペースを取って書く。 ・記事が分かりやすいよう，写真や絵，図表を用いるとよい。 ・記事の大きさに合わせて，写真や絵，図表の大きさを考える。	全体↓	・国語科で学習した新聞の構成や割り付けの仕方について，掲示を使って想起させる。
	3　新聞の構成や新聞名を考える。（35 分） ・西条の水のおいしさの理由や龍王山から 50 年もかけて流れてきていることを知らない保護者が多かったよね。 ・西条の水のおいしさを知らないということは，きっと西条の水の味が井戸ごとに違うということも知らないよ。 ・西条の水は中硬水で，ミネラルの量で味が違うということも知らないだろうね。 ・西条の水がおいしい理由を初めの記事にしたらどうかな。 ・いきなり西条の水のおいしい理由を書くよりも西条の水は井戸ごとに味が違うことを書いた方が，読む人は驚くんじゃないのかな。 ・観光客がそれを知ると，井戸の水を飲み比べてみようと思うだろうね。 ・じゃあ，一番初めの記事は，井戸によって水の味が違うことを書こう。井戸の位置が分かる地図を載せようよ。 ・いいね。そして，二番目に西条の水のおいしさを書こう。	グループ↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：関連付け〉 ・第 25 時「課題の設定」で分析した全校児童・保護者アンケートの結果と関連付けて，新聞の構成を考えさせる。 ・付箋に伝えたい内容を書き出させ，紙面を区切りながらどこにどの内容を書いていくのかを話し合わせる。 ・付箋に書き出した内容を全て入れることができない場合は，取捨選択するよう助言する。 ◇話合いが滞っているグループには，グループの話合いに参加し，アンケート結果を基に考えるよう助言する。 ・構成を考えたら，役割分担をさせる。 ◎アンケート結果と関連付けて，新聞の構成を考えている。（新聞）
／まとめ・つなげる	4　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（２分）	全体	・次時は，新聞記事を書いていくことを確認する。

4　本時の目標（28～29／33）

グループで協力して，読む人に分かりやすい新聞記事を書くことができる。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　活動の目的を確認し，学習課題を設定する。（３分） 学習課題　グループで協力して，読む人に分かりやすい新聞記事を書こう。 2　新聞記事を書く。（55 分） 記事を書くときに気を付けること ・決められた分量で書く。 ・「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を落とさずに書く。 ・伝えたいことがはっきり分かるように，段落と段落のつながりに気を付ける。 ・読む人の興味を引く見出しを考える。 3　推敲をする。（30 分） 記事を読み合うときの観点 ・間違った字や分かりにくい文はないか。 ・伝えたいことがはっきりと分かるか。 ・よりよい表現はないか。 4　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（２分）	全体↓ 全体↓個人・グループ↓全体↓グループ↓個人↓全体	・多くの人に新聞を読んでもらい，西条の水のナゾを知ってもらうという目的を確認する。 ・国語科で学習した新聞記事の書き方について，掲示を使って想起させる。 ・下書き用の用紙を切り分け，各自で書かせる。 ・これまでの活動の写真の一覧や写真の大きさ見本を準備しておき，使いたい写真と大きさをメモさせておく。 追求力引き出しポイント ・どのように書けばよいか分からない場合は，グループで自由に相談させる。 ・事前にグループリーダーには，どのように書けばよいか分からない児童に，対話をしながら助言をする方法を指導しておく。 ◇どのように書けばよいか分からない児童の相談にのるよう，グループに声をかける。 ・記事を読み合うときの観点を確認する。 ・それぞれが書いた記事をグループで順に回し，推敲の観点に従って気付いたことを書き込んでいかせる。 ・友達からの書き込みを参考にして，赤鉛筆で直させる。 ◎グループで協力して，読む人に分かりやすいように，見出しや段落の中心などを考えて記事を書いている。（行動観察・新聞記事） ・次時は，記事を清書して新聞を完成させ，５・６年生や保護者に西条の水のナゾを伝える会の準備をすることを確認する。

４　本時の目標（30～31／33）

グループで協力して，５・６年生や保護者に西条の水のナゾを伝える会の準備をすることができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	１　本時の活動を確認する。（３分）	全体↓	・本時は記事を清書して新聞を完成させ，５・６年生や保護者に西条の水のナゾを伝える会の準備をすることを確認する。
	学習課題　グループで協力して，５・６年生や保護者に西条の水のナゾを伝える準備をしよう。		
深め・拡げる	２　記事を清書し，新聞を完成させる。（15 分） ３　会の場所と時間，流れを確認する。（10 分） ・決められた場所（教室かオープンスペース）に新聞を貼って発表をする。 ・発表は１回 15 分。保護者への発表は２回行う。 ・新聞を使った説明以外の内容は，各グループで考える。 ・自分が書いた記事について，写真や図表を指し示しながら説明する。	個人・グループ→全体 ↓	・切り分けた用紙に清書させ，台紙に貼って新聞を完成させる。 ・読み手のことを考え，丁寧な文字で書くよう指導する。 ・写真や図表を配置してから記事を書くようにする。 追求力引き出しポイント ・グループで活動内容を自由に決めさせることにより，自分達で考え運営する会だという意識を高める。
	４　会の内容を話し合い，練習をする。（60 分） ・僕達は，説明の後に，西条の水について思ったことを一人一人発表しようよ。 ・いいね。前に西条の水のキャッチコピーを考えたでしょ。それを使おうよ。 ・私達は，聞いている人に感想を言ってもらおうよ。 ・感想を言ってもらうと，西条の水のナゾが伝わったかが分かるね。	グループ ↓	・会の流れや記事の説明以外の言葉，役割分担を書くワークシートを用いて話し合わせる。 ◇記事の説明以外の内容を例示し，参考にさせる。 ・ストップウォッチで時間を計りながら練習させる。 ・声の大きさや目線などについて，アドバイスさせる。 ◎グループで協力して，西条の水のナゾを伝える会の準備をしている。（行動観察）
／まとめ・つなげる	５　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（２分）	全体	・次時は保護者に西条の水のナゾを伝える会を開くこと，５・６年生には朝の時間を利用して会を開くことを確認する。

４　本時の目標（32／33）

グループで協力して，保護者に西条の水のナゾを伝えることができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／深め・拡げる／まとめ・つなげる	1　本時の活動の目的を確認する。　（３分）	全体↓	・保護者アンケートの結果を想起させ，本時は新聞を用いて保護者に西条の水のナゾを伝えることを確認する。
	学習課題　グループで協力して，西条の水のナゾを保護者のみなさんに伝えよう。		
	2　活動の流れを確認する。　（５分） ・各グループのブースで，集まった保護者に向けて発表をする。 ・会は 15 分間で，２回行う。 ・各グループで考えたプログラムで進める。 ・西条の水のナゾについては，自分が書いた記事について，写真や図表を指し示しながら説明する。 ・１回目の会終了後，アドバイスタイムを５分間とる。グループ内でアドバイスし合い，それを意識して２回目の会を行う。	全体↓	・新聞は，事前にそれぞれのグループの場所に掲示しておく。 ・教室とオープンスペースを利用する。オープンスペースは，他のグループの声が聞こえにくくするために，移動式パネルで仕切る。 ・音楽が鳴ったら，会を始めたり終了したりすることを確認しておく。
	3　保護者に西条の水のナゾを伝える。（32 分） ・Ａさんは，声が大きくてよかったよ。 ・新聞ばかり見ていたから，聞いている人の方を見るともっといいと思うよ。 ・みんなが西条の水のキャッチコピーを話し終わったら，誰かがまとめを言った方がいいんじゃないかな。 ・司会のＢ君が「西条の水のよさを分かってもらえましたか。みなさんもぜひ西条の水を味わってください。」とまとめればいいと思うよ。	グループ↓	追求力引き出しポイント ・１回目の会と２回目の会の間にアドバイスタイムを設けることにより，グループで協力して，西条の水のナゾをよりよく伝えようという意識を高める。 ◇どのようにアドバイスすればよいか困っているグループには，「声の大きさや目線はどうだったか。」「修正した方がいい内容はなかったか。」等を問い，自分達の発表を振り返らせる。
	4　本時の学習をまとめ，次時につなげる。（５分） ・私は，Ｃさんに「もっと大きい声を出さないと，西条の水のナゾが伝わらないよ。勇気を出して。」とアドバイスされました。恥ずかしかったけど，１回目の時より２倍の声を出して発表しました。すると，みんなが「よく伝わったよ。」と言ってくれたのでうれしかったです。西条の水のナゾを保護者のみなさんに分かってもらえたと思います。	個人↓全体	・グループで協力することができたかという視点で本時の学習感想を書かせ，発表させる。 ◎グループで協力して，保護者に西条の水のナゾを伝えている。　（行動観察・学習感想） ・放課後や休憩時間等に新聞を校内外に貼ってもらう依頼をしていくことを確認する。

4　本時の目標（33／33）

単元の学習を振り返り，西条の水の価値を実感したり，西条の水に対する自分の見方の変容や自分の成長を自覚したりしている。

5　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	1　単元の学習を想起し，本時の学習課題を設定する。（５分）	全体↓	・掲示やこれまでに書いたビフォー・アフターシートを使って，単元の学習を想起させる。
	学習課題　単元の学習を振り返り，自分の成長を見付けよう。		
深め・拡げる／	2　ビフォー・アフターシートを記入する。（５分） ・新聞を置いてもらうようくららに頼みに行った時は，緊張しました。でも，西条の水のナゾを多くの人に知ってもらうためだと勇気を出してお願いしました。くららの人に「いいですよ。」と言ってもらった時は，「やった！」と思いました。昨日くららに行ってみると，30 枚置いた新聞が，15 枚に減っていました。私達の新聞を読んでくれている人がいると知って，すごくうれしかったです。	個人↓	評価力引き出しポイント ・ビフォー・アフターシートの最後の欄に，西条の水のナゾを伝える活動を終えた感想を書かせる。 ・これまで書いてきたビフォー・アフターシートを読むことにより，自らの考えの変容や成長を自覚することができるようにする。 ◇対話をしながら感想を引き出す。
	3　ビフォー・アフターシートに書いた事柄を交流する。（10 分）	全体↓	・感想の中から，その児童の頑張りや成長，西条の水についての考えの変容などを表す言葉を板書していき，次の活動につなげる。
	4　振り返りカードを記入する。（10 分） 西条の水について ・私は，西条の水があることを全然知りませんでした。でも，今は西条の水についてたくさんのことを知りました。そして，西条の水は，西条の町にとって宝の水だと思うようになりました。西条の水を大切にしていきたいです。 単元の学習を通して学んだことや成長したこと ・ぼくは，友達と協力することができるようになったと思います。前は，グループで話し合う時そんなに意見を言っていなかったけれど，この学習ではグループでやることが多かったので，グループでどんどん自分の考えを言えるようになりました。	個人↓	・単元の学習を通して，西条の水に対する自分の見方の変容や学んだこと，成長したと思うことを書かせる。 ◇ビフォー・アフターシートを読みながら具体的な場面を想起させ，自分の考えが変容したことやがんばったことを自覚させる。 ◎単元の学習を振り返り，西条の水の価値を実感したり，西条の水に対する自分の見方の変容や自分の成長を自覚したりしている。 （ビフォー・アフターシート，振り返りカード）
／まとめ・つなげる	5　振り返りカードに書いたことを交流する。（15 分）	全体	・互いに成長できた喜びを共有するよう，友達の発表を聞いた感想も発表させる。 ・児童の成長を認め，本単元の学習を締めくくる。